



もうこしゅうらいえことばてん
蒙古襲来絵詞展
～750年前西新は主戦場だった～

会場：西南コミュニティーセンター 1階 多目的室

展示 2024年 11/22(金)・23(土) 10:00～16:00
11/24(日) 10:00～12:00

- ・『蒙古襲来絵詞』絵巻物
(福岡市総合図書館蔵)
- ・元寇区域史跡写真
- ・漫画『アンゴルモア』デジタル原画



無料

講演 2024年 11/24(日) 14:00～15:30 (受付 13:30～)
「世界史から見た元寇」

講師：花田 洋一郎 氏 (西南学院大学経済学部 教授)
定員：90名
申込：右のQRコードからフォームで申込
もしくは西新公民館まで電話で (☎851-9925)



主催：蒙古襲来絵詞展実行委員会 (西新校区自治協議会・高取校区自治協議会)

後援：福岡市教育委員会・福岡市

協賛：西南まちづくりラボ・西新中央商店街・
西新1丁目1区自治会・西新1丁目2区自治会・西新1丁目3区自治会・
西新4丁目3区自治会・西新5丁目1区自治会・西新6丁目1区自治会・
西新6丁目2区自治会・西新7丁目1区自治会・西新7丁目2区自治会・
西新7丁目3区自治会・曙1丁目4区自治会

協力：福岡市総合図書館・西南学院社会連携課・株式会社 KADOKAWA・西新公民館

「蒙古襲来絵詞（もうこしゅうらいえことば）」とは？

元寇（文永・弘安の役）の際の、肥後の御家人竹崎季長の活躍を描いた長大な絵巻物です。季長が、自身の体験をもとに描かせたとされるだけに戦闘場面は実にリアルで、当時の風景や風俗、またモンゴルの戦法をうかがう上からも貴重な史料で世界史的な価値を持っています。



絵詞は前後2巻からなり、合わせると40メートル以上にもなります。そこに自らの奮闘ぶりやモンゴル軍との戦いの有様が如実に描かれ、さらに恩賞として領地を拝領したことなど一連の経緯が彩色された鮮やかな絵と説明文で克明に記録されています。作成の意図については自らの武功を子孫に伝えるとともに、恩賞に預かったこと、神の加護があったことなどへの感謝の気持ちを込めたものと考えられています。

動画「750年の時を超えて～元寇史跡をめぐる～」

今回の展示会・講演会を開催するにあたり、福岡市早良区地域支援課の協力で動画を制作しました。750年の時を超えて、西新・高取近辺の元寇史跡をめぐることができます。

福岡県福岡市のYouTube公式チャンネルである「福岡チャンネル by Fukuoka city」にてご覧いただけます、右のQRコードからぜひご覧ください！



(動画 URL : <https://youtu.be/GieRTUMIVN0>)

西南学院大学経済学部 教授
花田 洋一郎 氏

講師紹介

研究分野：ヨーロッパ中世社会経済史

自己紹介文：小さい頃は天文学者になりたかったが、高校時代に歴史学者に変更。フランス語が好きだったのでフランス史の道へ。フランス中世都市の財政史、シャンパーニュ大市などの商業史を研究してます。花田の姓は鐘崎に多く、私の先祖も鐘崎から来たようです。弥生～古墳時代に朝鮮半島との交易を担った宗像海人の末裔かも。

会場：西南コミュニティーセンター



福岡市早良区西新 6-2-92

福岡市営地下鉄空港線 西新駅 3番出口...徒歩5分
西鉄バス 西南学院大学前バス停徒歩2分
修猷館前バス停徒歩5分